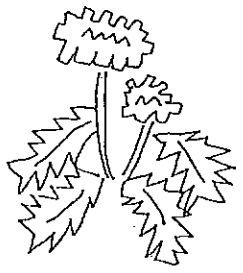


NO 1 0 5
 H 8 年 3 月 1 日
 - 発 行 -
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



三割

理事長 田中 稔

2月に入ると新聞等で「球春」という文字を見聞きするようになります。野球の好きな方には待ちに待った今年のプロ野球の始まりです。

昨年はおおかたの予想を覆して下馬評になかった(ファンの方には怒られそうですが)ヤクルト球団が優勝しました。これだから勝負事は分かりません。野球のようなチームプレーで争われる競技は金をつぎ込んだから勝てるという事ではないようです。

優勝候補であったジャイアンツとヤクルトとの両監督の個性の違いも面白いと思いました。天才型と努力型ということでしょうか。私の好みからは努力型の人が好きです。

昨年のプロ野球の話題は野茂とイチローの活躍ではなかったでしょ

うか。打者としての一流の証しは打率三割でしょう。これは天才といわれる人でも容易ではありません。生涯打率で三割を越える数字を残している人が何人いるでしょうか。

先日、「先生、前が」のコミーシャルで馴染みの森 毅先生の本を読んでいたら、この三割の話が出ていました。

蟻の集団の中に働き蟻というのがいて、私たちが見えますと童話の蟻とキリギリスの話のの様に、皆一生懸命働いているように見えるのですが、実は働いているのは三割の蟻だけで、あとはサボッテいるのだそうです。面白いのはサボッテいる蟻だけを集めるとその中の三割の蟻が働き始めるのだそうです。逆に働いている蟻だけを集めると七割の蟻がサボルようになるのだそうです。

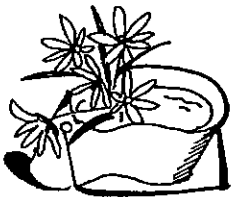
人間の世の中も、蟻の世界も、

どうやらその中の三割が真面目であれば成り立つもののようなのです。

森先生は、皆が一丸となってガンバルなどということを求め過ぎると世の中おかしくなってしまう。もっとゆったりと三割がたガンバルということではないのでしょうか。

三気の里の園生もガンバレ、ガンバレではなく三割ガンバレば良というゆとりが必要のようです。

作業班も三人に一人がマーマーやってくれば十分成り立っているのです。但し、職員には、この三割は通用しませんので念の為。



のん気・こん気・げん気

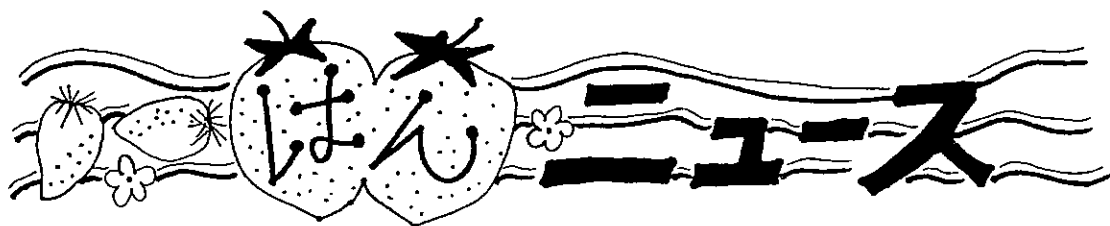
▽2月に入り、作業棟の横でふきのとうを見つけた。例年に無く厳しい寒さの中でも春は、確実に近付いているようだ。厳しい寒さの中での作業もあるが、春の息吹きを探す楽しみもある。

▽早春のスボーツの花と言えば、駅伝にマラソンと言ったところだろうか。三気の里の周囲でも正月に地元地区の駅伝が開かれ、2月は白川ラインマラソンが行われた。

▽駅伝こそは、参加出来なかったものの白川ラインマラソンには、三気の里の精鋭が参加した。詳細は、後記に譲るとして、特に疾風怒濤の毎く職員さえも振切ってしまった松村君は、一躍スーパヒーローである。

▽先頃、(財)日本花の会様より八重桜の苗木を70本余りを戴きました。1本1本に過去9年間の成人者のプレートを付け植樹する事にしました。今から、春の訪れが楽しみです。数年の後には、桜の里として変身するのを夢んでいます。





1 班 - 春一番迷走 (スケート)

ザッザッ、カッカッ…私の後から力強く氷を蹴る音が近付く、驚いて振り返ると血相を変えた英ちゃんと、建ちゃんが追ってくるではありませんか。手押しソリに乗った建ちゃんと、それを押す英ちゃんの姿だったのです。

今日はウィンタースポーツを楽しもうと、熊本城近くのスコアでスケートにやってきましたのでした。

怖がらずにリンクへ入る事が出来たのは、ほんの一握りでした。等の二人に至っては入口でストライキ状態でした。それをなだめすかして、手押しソリを使っていざ入場。必死の形相の二人の前に、誰もが路を開けてくれました。

(ご協力戴いた、来場のお客さんご迷惑をおかけしました。)

ちなみに得意技を紹介しますと、手すり磨きは俊ちゃん、健ちゃん、自由演技は英輔くん、亮くん、規定演技は前田くんでした。皆、冬のスポーツは堪能出来たかな。来年はアイスホッケーに挑戦。

坂井

2 班 - 春、満喫

暖かい陽気に誘われて、一足早い春を(?)味わおうと苺狩りに行って来ました。まだ少し早かったようで真っ赤な苺よりも青く小さな苺が目につくハウスの中、ここぞとばかりに苺をほおぼるあっこちゃん、ゆうこちゃん、龍也くん、文ちゃん。泰彰くんは腰を下ろしハウスの端から順に大きくて真っ赤な苺をまるで収穫するかのようには慣れた手つきでお腹の中へと納めていく仕事ぶり(?)。その姿と対照的だったのがよっちゃん、明日香ちゃん、幸恵ちゃん。苺を食べるよりも、苺やみんなの食べる姿を見て春を満喫したようです。博くん、さとちゃん、まーちゃん、まこちゃんは職員がおいしそうに実った苺を選ぶのを待って食べていました。

室内作業ということもあり冬の寒さをあまり体感しなかった2班の面々ですが、やはり春の訪れはうれしく、待ち遠しいものです。こんどみんなで春を探しに散歩に出てみようかな…。 石丸

3 班 - “春” が来た!

梅の花が少し咲きはじめた2月13日(火)に長崎県島原市へ出かけました。

雨と途中の道路工事の為渋滞し、長洲港に着いた時には乗るはずのフェリーが、ちょうど出港しており、見送ってから一便後のフェリーで島原へと向かったのです。フェリーの中では、嬉しくてたまらず声を出して笑っていた人、初めてフェリーに乗った人、デッキで楽しそうに海を眺めていた人、怖くて一人では歩けず職員にしがみついていた人と各々でした。闇が出る時降っていた雨もやみ、島原では4月頃の暖かさで、島原城・武家造り通りを散策し、広くてきれいな公園のアスレチックや遊具で遊び、思いっきり“春”を満喫しました。今年初めて、“春”を感じた一日でした。

平野さんのお宅にも25名の大所帯でおじゃまし、おいしい豚汁・シュークリームをごちそうになりました。ありがとうございました。

今村

4班 - 温泉グルメツアー

暦の上では、とうの昔に春を迎えたと言うのに。“春”と呼ぶには少し寒さが厳しいように感じるのは私だけでしょうか。それでも時折ほおをなでる風に心暖かくなります。

さて、私たち農耕班の元気な面々たちは、2月14日にレクレーションへと出かけて参りました。今回は、題として「温泉グルメツアー」。いつもより少し遅く園を出発し、いつもの寒さがウソのようなポカポカ陽気の中、バスに揺られて行きました。着いた所は東バイパス沿いにあるとんかつ屋「浜勝」。店内にたちこめるおいしそうな臭いに皆もニコニコしながら鼻がピクピク動いて止まりません。各々メニューを選んでご飯、野菜、みそ汁と沢山おかわりして満腹満腹と、満面の笑みでこの上ない喜びに浸っていました。それから一行は一路白水村へ。今回は村営の「瑠璃」へ行きました。露天風呂あり、ジャグジーバスあり、薬湯ありと、もう温泉ぞんまい。気持ち良くお風呂から上がった皆のほおも、ほんのりピンクに色付き、心暖まる一日でした。

麻生

5班 - もうすぐ春ですね

暦のうえでは、もうすぐ春ですね!とはいってもまだまだ春を感じるには早いようです。先日(2月2日)には6年ぶりの積雪があり、交通渋滞で大変だった方もおられるのではないのでしょうか?(そういう私も大変でした)。園芸班の作業も一時休業。真っ白い畑の中をウキウキした足取りで雪をザクザク踏んで喜んでいた典浩君、蒼征君。みんなは、休業のうえに雪が降っていることで、とても嬉しそうでした。次の日、少し残った雪の中からほんの少し、緑色の顔を覗かせていたチューリップの芽を見て「わぁー、芽がでとる!」と、大はしゃぎしていたルリさん。園芸班の中で一番早く春を見つけたようです。他の皆も「わぁー本当!」と共感しながら、他にはないかどうか競いながら探していました。

もうすぐ「寒の戻り」も終わり、暖かい陽気が皆を優しく包み込んでくれますね。その頃は、ガラス温室もできあがっているかな?たくさんの花に囲まれ、温室の中でのんびり作業出来たらいいね…。

有働



療育シリーズ

知ってもらおう

園長 土井 尚典

見学者の多いシーズンである。自閉症とはどんな障害ですか。病気ですか。治るんですか。殻に閉じこもっている人をどうやって治すんですか。等などの質問を受ける。頭の中は時として「プツン」と来そうな質問もある。しかし、質問してくださるのは有り難いと思いつながら説明をする。

発達障害という親玉があつてその中の一つです。発達障害というのは、赤ちゃんが大人になって行く過程で、何らかの理由で発達が遅れて来た障害です。発達というのは、飛んだり走ったり、笑ったり泣いたり、しゃべったり聞いたり、ものを覚えたり考えたり、普通の人が当たり前にやっていることでですけどその発達がひどく遅れて来た障害です。発達障害の中には精神薄弱、自閉症や学習障害等がありますと説明を始める。

える。「自閉症は知的障害と違うんですか」という質問になると「ウーン」とうなってしまう。一般的には自閉症の人も指しますと答える。「そうです」と答えずに、「一般的には」と答えている自分に気が付く。

「自閉症は殻に閉じこもっている人ばかりじゃないんですか」という質問になると、いよいよ核心に近づいてくる。自閉症は脳の働きの障害で、環境や人から影響をうけてなる障害ではありません。他の人と表情や言葉を使ったやり取りが下手で、子供だったらだれでももつ興味や関心が広がりにくい障害ですと言つて例を挙げて説明をする。特に、家族が冷たいから自閉症になるといふのは間違いですという事を強調する。「家族が冷たいや母親が冷淡だった」などのとんでもない考えがまだまだ生きている。

精神薄弱とはどう違うんですか。という質問もくる。精神薄弱の説明から始めなくてはならない。このように質問がどんどんくることはうれしいことだ。けれども学校の先生や福祉関係者からくると、もう少し予備知識を仕入れてもら

う方法がないかと考えてしまふ。「勉強不足だ！」と一喝してしまふと、あなた任せになってしまう。

世の中の人すべてが一度は自閉症についての正しい知識に触れたことがある状態をつくれないかと考えてしまふ。すべての病院、学校、役所の待ち合い室に自閉症についての手引書や絵本をおき、廊下には自閉症についてのポスターを掲示したりして、正しい知識に接する場を作つて行く必要があると感じる。

知的障害という言葉も概念やイメージが先行し、障害についての知識は平行していない。ましてや障害者の実態に触れることは極めて少ない。

障害者は私たちと同じ普通の人である。ただ障害を持っているだけである。その障害が援助を必要としている。援助するためには障害を知らなくてはいけないと言っただけである。すごく簡単である。

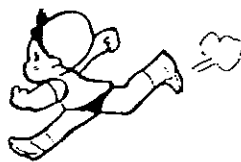


白川インマラソン

佐藤 香織

2月18日(日)、大津町主催の第22回白川ラインマラソン大会に、園生8名(元田君、松村君、高木君、森川君、国本君、上田君、坂本さん、伊石さん)、職員10名が参加しました。5kmのコースに参加する為、毎週金曜日のスポーツクラブの時間に頑張つて練習して行きました。

当日は、昨夜までの雨も上がり快晴。「遅いあなたが主役です!」の大会スローガンのもと、大勢の人が一斉にスタートしました。沿道には多くの応援者が見守る中、職員は内心、園生に付いて行けるのだろうか?とゆう不安を抱きながらも、順位はまちまちでしたが、全員無事に完走することが出来ました。ゴールした後のお弁当は格別でしたネ!本当にお疲れ様でした。



お別れ

魚谷 郁子

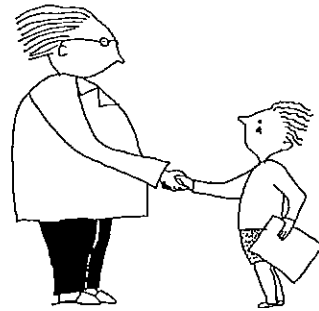
「問題行動のある子供が指導がやり易い」最重度と判定された自閉症の長男と共に行く先々で肩身の狭い思いで過ごしてきた私には、何と温かく聞こえた言葉だったことでしょう。

土井先生と出合った時の先生のお言葉です。それから9年間、土井先生は園長として、田中理事長と共に三気の里を立派に育てて来られました。何の不安もなく子供をお願いし、私共の心の支えとしての先生の存在は大きなものでした。80名定員となった園もいよいよこれから充実期を迎える時、土井先生を送る会を開くことになるとは予想もしていませんでした。新しく施設の開所を目指される先生にお引きとめする術も知らず、2月12日、神園山荘に58名の保護者が集いました。例年の懇親会の2倍の数です。

土井先生のこれまでの労をねぎらい、すばらしい指導力と、温厚なお人柄への惜別の念は、先生を囲む保護者の1人1人の顔の表情が物語っております。一方では淋しさを紛らすようにカラオケが宴

を盛り上げてくれました。

先生との出会いに感謝し、ご縁を大切に、先生の前途にある新しい園の発展とご健康を祈りつつ「今日の日日はさようなら」の合唱を最後に送別会は幕を閉じました。



我が家のひな祭り

福永ヤヨイ

ゆかりは昭和41年6月1日に生まれました。干支はひのえうまです。ひな祭りの思い出としましては、生まれて今まで家ではやった事はありません。せめて1回ぐらいはやらせたかったですけど、家が貧しかったので今までやる事が出来ませんでした。それに今度3月3日は弟の誕生日なのでその時いっしょに祝ってやりたいと思います。



食堂学芸芸中

寒さが厳しい今日この頃ですが、園内では、風邪が流行して園生・職員共にダウン。今年の風邪はお腹にくるらしく、なかなか治りにくいようです。そのため食事は軟食になり、嫌いで食べようとしなかったり、「いつまでおかゆですか?」と聞きにくる園生もいます。

食堂も休業中にならないよう体調を整え頑張りたいと思います。



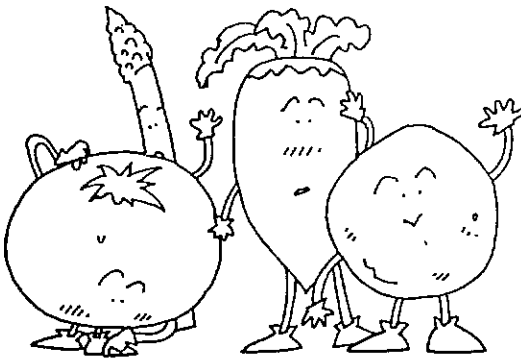
金丸

栄養の話

（ドレッシングは工夫しないで

カロリーが気にならなくなる）野菜サラダが好きでも、カロリーを考えるなら、ドレッシングの油は気になるもの。従来のドレッシングは油と酢の割合が2:1から1:1で作られていて、野菜と一緒に油を食べているようなものです。油は大きじ一杯で200カロリーあります。健康のため取り過ぎには注意したいものです。そこで便利なのがノンオイルやカロリーハーフのドレッシング。しかし、

買ってこなくても自分流に工夫して作ってみるのはどうでしょう。例えばマヨネーズを牛乳やヨーグルトで薄めて使ったり、風味を生かしてレモン汁に塩・こしょうなど。もしそれも面倒なら、ドレッシングを使うときに野菜の切り方を変えてみます。千切りより、できるだけ大切にカットすると表面積が小さくなって油の摂取量をおさえることができますよ。前田



3月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
中村孝久くん、藤本くん、中原くん、上田宣陽さん、伊石さん誕生日おめでとう! 9日(土) 保護者会・斉集日 19日(水) 春分の日 29日(金) 帰宅バス				1	2	3 孝久君の誕生日(28)	
4 藤本くんの誕生日(25)	5	6	7	8	9 保護者会・帰宅日	10 中原くんの誕生日(22)	
11 宣陽さんの誕生日(51)	12	13	14	15	16	17	
18	19	20 春分の日	21	22 伊石さんの誕生日(24) たんぼば編集日	23	24	
25	26	27	28	29 帰宅バス 職員研修	30	31	

※ 今月の帰宅バスは29日金曜日です。詳細は後日お知らせします。



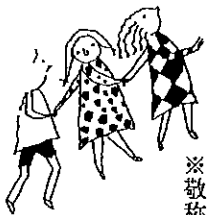
ボランティア通信

「見て下さい。目付きが違うでしょう!」2月の第3土曜日の午後、ボランティアでブラッシング指導、歯の管理をして下さっている森さんが、障害と歯についての難しい本を小脇に抱えて一言。昨夜はその本を見ていて寝不足とか。 「すでにボランティアの域を越えましたね!」と職員の一言。横から「森さんは三気の会の賛助会員だもん。」と一言。このようなボランティアさんたちに私たちでは手が回らない部分を支えられ、みんなの生活が成り立っています。ありがたい限りです。

そのようなボランティアさんの姿を見て、負けてはいられないと一人思う私でした。

- ☆ボランティアありがとう
- ☆ブラッシング指導 森隆子
- ☆生け花 西村栄子
- ☆散髪 松尾博美・清田純一

※敬称略



おわび

たんぼば2月号で小島さんの名前に誤りがありました。小島ゆき子さんを小島みき子さんに訂正します。



編集後記

先日わたしは、職場の先輩と共に砥用町にワカサギ釣りに出掛けました。皆さんは、ワカサギは寒い土地で氷に穴をあけ、釣るイメージをもっていられる方がほとんどと思われませんが、最近では各地の湖などに多く生息しています。しかし、今回釣ったワカサギはそれには程遠いもので、わたしの小指程でした。その変わりと言っては何ですが、活がよく、2日間バケツに入れたままでもまだピンピンしていました。

今後のたんぼばも今までと変わらず今回釣ってきたワカサギの様に活がよい文章を書いてゆきたいと思います。皆様もぜひ一度挑戦してみてください。

山口